

市議会議員あいざき佐和子の活動ニュース 臨時号 ITAMI大好き! 2013年4月

もうすぐ市長選! 誰に投票すればいいの?

来る4月14日(日)伊丹市長選挙が行われます。立候補が予想されるのは4名。
▽現市長、藤原保幸氏(58)▽元市総合政策部長、阪上聡樹氏(53)
▽元市議、岩城敏之氏(52)▽市民団体事務局代理、服部好広氏(61)。
市民の方々からは「誰に投票するか迷っている」「今の市長はどんなの?」等
様々にお声をいただきます。そこで「ITAMI大好き!」臨時号を発行して、
相崎なりに政策を検証し見解を述べることにしました。



■よくある質問① 「伊丹の財政状況はそんなに悪いのか?」

「新人候補は“伊丹の財政はこんなに悪い!”と主張してるが、実際どうなの?」とのご質問、
よくいただきます。相崎は「**確かに余裕は無いが、全力で改革に取り組み成果が出ている**」と捉え
ています。

不況による税収の減少などにより、市の経済情勢は経常収支比率(入ってくるお金に対し必ず出
て行くお金の割合)がH25年度予算で96.6%と、**相当に余裕の無い財政状況です。ただ、様々
に財政改善の取り組みを進めており、成果も上がっています。**市の貯金である財政基金は、7億円
(H21年度)から34億円(H25年度予算)になり(※企業等貸付を除く)、市の借金である市債は
497億円(H16年度)から398億円(H25年度予算)に減っています。つまり借金は減って
貯金は増えています。前述の経常収支比率も、99.8%(H23年度)から96.6%(H25年度
予算)まで下がっています。

もちろん今後いっそう財政改革を進めねばならず、既存の概念に捉われない抜本的な取り組みが
必要です。ただ、**基礎自治体の財政改革は、市民サービスすなわち私たちの普段の生活に直接大き
く影響するゆえ、大胆さと同時に慎重さも必要です。**バランスをとりながらここまでの成果を出し
ていることは評価できると私は判断します。**抜本的な財政改革はもちろん必須ですが、私たちの生
活を無視した聞こえが良いだけの改革案には、慎重になりたいものです。**

■よくある質問② 「子育て・教育の環境はどうなる?」

「子育て・教育の環境を充実させてほしい」このお声もよく伺います。伊丹は若いファミリー層
が増えており、子育てや教育の充実は大きなポイント。私自身も力を入れている分野であることか
ら、特にピックアップして現状と今後を考えてみます。

まず**現状ですが、伊丹市は子育て環境の充実に力を入れてきました。**保育所はこの5年で320名分
の定員増を実現し、親子が気軽に集える“むっくむっくルーム”は市内8ヶ所を整備し、神津に公
立のこども園を開設しました。もちろん課題はまだありますが、市として重点的に取り組んでいる
と捉えてよしと判断しています。

そして今後ですが、**各候補予定者の公約を比較**してみました(※現在わかっている候補予定者の
チラシやホームページから子育て教育関連を抜粋。長文は相崎が要約。) 裏面へ→

～子育て関係～

- 藤原保幸氏: ○待機児童の解消○発達支援センターの整備
- 阪上聡樹氏: ○待機児童の解消○発達支援センターの整備○保育所耐震化
- 岩城敏之氏: ○待機児童の解消○発達支援センターの整備
- 服部好広氏: ○待機児童の解消

～教育関係～

- 藤原保幸氏: ○中学校給食の実施○土曜学習など学力向上○いじめ対策
○全小中学校のトイレ改修○児童クラブの充実
- 阪上聡樹氏: ○中学校給食の実施○学力向上○語学力強化○いじめ対策
- 岩城敏之氏: ○中学校給食の実施○土曜・放課後の授業○道徳・倫理教育の推進
○地域との連携○市長と教育委員会による目標設定
- 服部好広氏: ○中学校給食の実施○就学援助制度充実○少人数学級拡大
○子ども医療費中学校まで無償